

可児高発議第4号

公共交通機関の知名度向上に関する意見書

私たちが住む可児市の抱える問題は高齢化問題です。この問題はこれからも考えていかなければいけない問題と考えています。可児高校では今年度の10月、市議会議員の方々と共に市長選の模擬選挙を行い、先輩や後輩を交えた少人数のグループに分かれ活発な意見交流をしました。そこで議題として挙げられたのはやはり高齢化についてです。そこで次のように考えました。

医療技術が発達し、長く生きられるようになった高齢者のみなさんに、私たちは可児市で充実した生活を送ってほしいと思っています。しかし、今の可児市では足の不自由な方や、車の運転が危うい方が地域の中で利用できる公共交通機関があるにも関わらず、そのことを知っている人が少ないと感じます。さらに、最近の報道では高齢者による免許返納が多く行われていると報じられており今後ますます移動が困難な高齢者は増加傾向にあると予想されます。以上のことから、次の1点について要望します。

記

- 1 市が運営する公共交通機関の認知度向上のための情報の発信に努めること

令和2年2月5日

岐阜県立可児高等学校
1年 坪川 凜香

可児市議会 議長 伊藤 壽 様